

<Bby>

---

- A) 医者は本当に儲かるのか？
  - B) 時間の割合に対しても本当に儲かる仕事だと思う
  - C) 得になし
  - D) 三回 もっと書き込むべきだと思った
  - E) 最初に肯定を書いてその後に反論を書いた。
  - F) 反応がなかった
  - G) なかった
  - H) なかった
- 

- A) 医者は儲かるか？
  - B) 医者は儲かる。
  - C) 特になし
  - D) 2回
  - E) 自分と違うところを指摘した。
  - F) 返答なし
  - G) 特になし
  - H) 色々な意見があったが、今でも変わらない。
- 

- A) 医者は儲かるか？
  - B) 医者は儲かる
  - C) 特になかった
  - D) 3回
  - E) まずその意見に賛成かどうかを示し、その後に理由を述べた。
  - F) 意見が返ってくることはなかった
  - G) 日本人の英語に間違いが多かった
  - H) 儲かるか儲からないかは得る収入ではなく、使う時間やもらうお金に対する仕事の量の観点から述べる人がいて、『医者 = 儲かる』という考え方が少し変わった。
- 

A) テーマ  
「医者は、ほんとうに儲かる仕事なのか？」

B) テーマに対する自分の最初の考え方  
私は最初「医者は本当に儲かる仕事なのか？」という問いかけに「儲かる」と考えていました。  
なぜなら職業についての資料を見たり親などと話していると、医者は会社員や公務員と比較してはるかに高収入を得ている事を以前から知ってたからです。  
また、テレビなどをみても医者暮らしははるかに一般人よりも裕福であることを多く目にし、医者は高収入を得ていて儲かる仕事なんだというイメージを持ったからです。

C) 日本、アメリカ、台湾の高校生とオンラインキャリアディベートを行なったの価値観や文化の相違から生じる問題点

日本国内の高校生とはディベートをすることが出来ましたが、授業数も少なくアメリカや台湾の高校生の考えを読むことは出来ましたが、それに対してディベートをすることはできませんでした。

しかし日本国内では、沖縄・愛知ともに行ったこともない土地の高校生ですが、ディベートをしている中での価値観や文化の相違は感じませんでした。

他校の生徒の意見も積極的に認めたり、自分の意見をはっきり述べられていて非常に良かったと思います。

また、アメリカや台湾の高校生の考えを読むと日本人とほとんど考え方や述べていることは同じでした。

D)

・ Wikiに書き込んだ回数

7回くらい

・ ディベートに参加するにあたっては何回くらいが妥当か

今回は参加校も参加人数も多かったので、最低10回は様々なところに書き込むことで、意見を交換できてディベートをし最良の結論が出せるだろうと、私は思いました。

E)

・ 他者の意見に対する反応

英語であったため苦労しましたが全員の意見を読むようにし、自分の意見と同じであったらその人の意見に賛成であることを伝え、また違う観点での議論を展開するために話題を新しく提案しました。

自分の意見とは違う場合でも、その人の意見の納得できる部分には賛成し、疑問を感じる部分には「この意見の・・・(疑問を感じる部分)は、私は～と思うがどうだろうか?」という形で、その人の意見の受け入れつつ自分の考えも相手に伝えることで議論を展開させるようにしました。

・ それに対しての他者の反応

私の考えに納得し共感してくれたこともあったし、私が意見した相手とはまた違う生徒が入ってきて、さらに議論が展開したこともありました。

F)

・ 自分の意見に対する他者の反応

賛成してくれている場合は、私の意見と同じである部分を伝えてくれて共感を得ることが出来ました。

また、私の意見と違う場合には、全面的に反対はされませんでしたが一歩と反対している部分の意見を書かれました。

・ それに対しての自分の反応

自分とは違う意見を聞くことで、新たな考え方やこのテーマに対する見方が変わり自分としてはすごく役に立ったので、自分に対して言われた意見は素直に受け入れて相手に言葉を返しました。

G) その他、特徴的なこと

今回はテーマに対する賛成・反対で意見が色分けしてあったので読んで見やすかつ

たしわかりやすかったです。

H) ディベートを行なって、テーマに対する自分の考え方の変化

私は最初、医者是一般的な人よりも高収入を得ているから儲かっていると思ってました。

しかし、育った環境や考えの違う様々な高校生とディベートをしていくうちに、医者になるのはすごく勉強しなければならないし、また大学も6年制でありお金もすごくかかることから儲かるのではなく、つらい思いや努力をした人間が医者になっているので高収入は当然なのかもしれないと思うようになりました。

また、医者は24時間患者さんの命に対する責任を持たなければならないし、生活も不規則で日々忙しいため、例え高収入を得てもそれを使うような時間をないため、医者は儲かるどころか儲からない仕事であると考えようになりました。

私は身内などに医者はいないため医者の暮らしの現状などははっきりとはわかりませんでした。ディベートをしている中では身内に医者を持つ人の意見を聞いて、新たな発見をしたり自分が医者に対して持っていた固定観念が崩れてきて最終的には最初の考えとは異なっていました。

私はまだ自分が将来どんな職業に就きたいのかまだはっきりとはわからないけれど、今回のディベート学習を通して職業とは収入を得るということも大切なことだけれど、それ以上にやりがいを感じたり自分の興味のもてる分野であることが大切だなと感じました。

あったことも無い生徒とのディベートは最初は不安も少しありましたが、多くのことを学べて考える事ができた素晴らしい機会であったなと思いました。